

## HPHセミナー開催！

277 名が参加、民医連外からの参加もありました！



「HPHのすばらしい星が日本で生まれました」

セミナーに参加した HPH 国際ネットワーク事務局長ターネセン氏からのことばです。また「日本のみなさんと協力して活動していきたい」と、日本での HPH 活動への期待が寄せられ、「今回のセミナーで弾みがついたと思うので、この弾みを失わずに活動してもらいたい。行動重視の姿勢で生産的なコラボレーションができれば」と参加者を励ました。

### ハンヌ・ターネセン氏 略歴

ビスピヤ大学病院 WHO 研究協力センター所長  
ルンド大学、スコーネ大学病院教授  
国際 HPH ネットワーク事務局長



9月15-16日、全日本民医連主催の HPH セミナーが東京で開催されました。国際 HPH ネットワーク事務局長のハンヌ・ターネセン氏を招いての第1回目のセミナーであり、277名の参加がありました。医師の参加も58名と多く、HPHへの関心の高さと期待が感じられました。

セミナー1日目の第1部は、ターネセン氏による基調講演「HPHの歴史、哲学、基準、実践」。ユーモアも交えてのターネセン氏の講演は、HPHの理解を深めるにあたり大変重要なものでした。講演の最後には「ぜひ日本でのネットワーク作りを」と、日本でのネットワーク作りを強調されました。

第2部は「1からわかる HPH」と題し舟越 Drの講演、シンポジウムをおこないました。日本で第1号の HPH として「千鳥橋病院における HPH の実践と課題」を舟越 Drが講演、シンポジウムでは当院のノーリフトの取り組みや、シャルマンコーポでの「地域の保健室」の取り組みを報告。当院より、西山(洋)部長、渡邊副総師長、西山(俊)部長と、シャルマン絆会の塚さんがシンポジストを務めました。

日本ヘルスプロモーション学会、日本プライマリ・ケア連合学会、佐久総合病院、福岡大学など、民医連外からの参加とHPHへの期待の声！



福岡大学 守山教授  
(医学部衛生・公衆衛生学)



日本ヘルスプロモーション学会 島内会長  
順天堂大学大学院 教授 (スポーツ健康科学研究科)



佐久総合病院 前島健康管理部長

セミナー2日目は、HPHを実践に移すために「自分の事業所にはどんなヘルスプロモーションの課題があり、何から手がけようと思いますか」をテーマに、ワールドカフェ形式でディスカッションをおこないました。

ディスカッションでは「いろんな課題がある中でどのように進めていけばいいのか」という悩みや、「民医連のこれまでの活動と変わらないのでは」「HPHの活動で職員に誇りが持てる」などの意見が出され、活発な論議となりました。

## ハンヌ・ターネセン教授と学ぶ

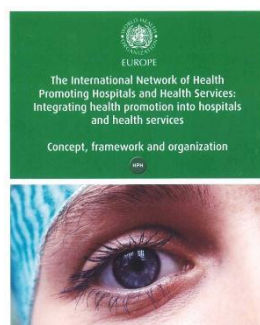
日本プライマリ・ケア連合学会



国際ネットワーク事務局長 ターネセン氏と一緒に



WHO 発行のパンフレット『国際 HPH ネットワーク ヘルスプロモーションの病院・ヘルスサービスへの統合』の日本語版が完成しました！



千鳥橋病院では HPH を広く知ってもらうために、WHO が発行する HPH パンフレットの日本語版を発行しました。序文にはターネセン氏（国際 HPH ネットワーク事務局長）と、監訳者の近藤克則氏（日本福祉大学健康社会研究センター長）より期待が寄せられています。

今後、地域の医療機関への配布や、職員が HPH への理解を深めるために活用していく予定です。このパンフレットを足がかりに、日本でのネットワーク作りを前進させていきたいと思ひます。